

ロータリー：
変化をもたらす

例会日 ■ 平成 30 年 3 月 29 日(木) 会場 ■ 割烹八文字屋 開会点鐘 ■ 12:30 2017-18 年度 VOL 34

三春 RC テーマ:「ロータリーを広めよう！」

Contents:PETS 報告

【例 会】	司会:橋本紀子 SAA	5.幹事報告
1.開会点鐘		6.各委員会報告
2.ロータリーソング「我らの生業」		7.PETS 報告(石川会長エレクト)
3.四つのテストの唱和		8. 閉会点鐘
4.会長挨拶		

会 長 挨 拶



皆さん、こんにちは。
今年はやの開花が早いようです。
まず、4 件ほど連絡事項がございます。

前回の例会でお話しました八潮ロータリークラブとの友好クラブ更新締結式の日程ですが 6 月 19 日(火)、小名浜オーシャンホテルにおいて行われることとなりました。この日は八潮クラブとの合同例会となり、懇親会も予定しております。クラブの親睦旅行もこれに合わせられるか今後詰めていきたいと思っております。

二つ目は、春日部西ロータリークラブから 6 月 1 日(金)に創立 35 周年記念式典のご案内が届いております。こちらにも改めて出欠の確認をさせていただきます。昨日、春日部西ロータリークラブから連絡がありまして、来週の三春クラブの例会に会長様以下 4 名で来訪されるそ

うです。

三つ目は、前回の例会でもお話ししました。次年度の地区補助金を活用した事業の件ですが、岩江小学校に電子黒板を寄贈することになりました。本日、地区補助金の申請をいたします。電子黒板につきましては小学校の授業でもデジタル教科書の利用が始まっているそうですが、三春町においては費用の面で整備が遅れているのが現状だそうです。授業の理解度向上と教育現場での先生方の負担軽減を目的に岩江小学校には電子黒板を寄贈することとしました。先日、橋本国春社会奉仕委員長と岩江小学校の遠藤校長先生にお会いしこの件についてお話しさせていただきました。寄贈後、時期は 9 月ごろになると思っておりますが岩江小学校において実際にデジタル教科書を使った授業を参観し、あわせてロータリークラブの活動などを紹介する『出前講座』などを行うプログラムとなる予定です。

四つ目は佐久間英一パストガバナーRI 受賞祝賀会の件です。4月上旬に表彰の盾が届くとのことですので、祝賀会の日程は5月以降ということで詰めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

今日の午前、渡邊宏二副会長、山口幹事と共に田村警察署へ新しく着任されました遠藤孝署長様へ表敬訪問をいたしました。遠藤署長様に

は公務のお忙しい中となりますが、来月のゲスト卓話の件お願いいたしてまいりました。余談になりますが、遠藤署長さんとは偶然にも私の妻が田村高等学校で同窓だったことがわかりました。来月のゲスト卓話を楽しみにいたします。



幹事報告

1. 春日部西ロータリークラブ様が来訪されます。

次の例会（4月5日）は、春日部西ロータリークラブより下記の方が来訪されます。

- ◇会長：大東悦巳（だいとうよしみ）さん
- ◇35周年実行委員長：鶴見 裕（つるみひろし）さん
- ◇次年度幹事：大熊通男（おおくまみちお）さん
- ◇パスト会長：田中祥皓（たなかよしあき）さん



2. 三春中学校下に昨年植樹した梅・桃・桜が開花直前です。

お近くを通りの際はぜひご覧になってください。梅の木が開花しました！→

写真提供：橋本国春さん



PETS 報告

◇石川和広会長エレクト

2018-19年度 会長エレクト研修セミナー（PETS）

日時：2018年3月17日（土）～18日（日）

会場：ホテル華の湯

<第1セッション>13:30～14:20

RI テーマと地区目標

<第2セッション>14:30～16:30

地区管理と運営 クラブ管理と会長の責務



国際ロータリーのテーマについて

「インスピレーションになろう」 Be the Inspiration

「私たちに与えられた責任は 可能な限り効果的、効率的に奉仕し 情報の透明性と説明責任を大事にし、そして、意義があり、持続可能な方法で、できるだけ多くの人により良い変化をもたらしながら、将来のため しっかりした土台を築くことです。ロータリーで会員が最高の経験ができるよう、そして、ロータリーが、今年度や次年度だけでなく、ロータリーでの私たちの活動が私たちの生涯を超え成長し続け、世界に役立っていけるようにすることが必要です。それが、ロータリーのリーダーとして私たちに託された仕事です。」

ロータリーのビジョン声明、

「私たちロータリアンは世界で、地域社会で、そして 自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、手を取り合って行動する世界を目指しています。」

新しいビジョン声明は、ロータリーがこれからも長期的に繁栄していくために未来の方向を定めるものであり、ロータリーが世界と会員にもたらしたいと願う強い気持ちを表しています。

RI テーマの日本語訳について

次年度三春ロータリーの標語

繋がろうロータリー、繋げようロータリー

(50年続いた三春RCが100年続きますように)

ロータリーの会員数について

2018-19年度 国際ロータリーの目標

国際ロータリーの戦略計画に基づき

優先項目1「クラブのサポートと強化」 1-4

優先項目2「人道的奉仕の重点化と増加」 5-3

優先項目3「公共イメージと認知度の向上」 9-11

価値観を行動に 「親睦」「高潔性」「多様性」「奉仕」「リーダーシップ」

2018-19年度国際ロータリー第2530地区地区組織と運営

地区組織について

地区運営委員会 地区が今後どのようにあるべきかを模索し中期・長期にわたる戦略計画とビジョンを構築します。

地区規定・表彰検討チーム

地区運営検討チーム 1 ガバナー事務所の運営について検討

地区資金について

2. 地区全体の情報共有やシステム化について検討

3. 地区への改善要望など、クラブの実態調査などをアンケート調査などにより今後の方向性を模索する。

地区研修委員会 ガバナー、ガバナー補佐と協力しながら

地区内の IT 推進及び次期幹事セミナー(分区単位)、次期ガバナー補佐研修
RLI (ロータリーリーダーシップ研究会)の導入などを企画実施します。

RI 理事会決定事項について

- 1 地区会員増強委員会と地区新クラブ結成・推進委員会を地区会員増強委員会に統合
- 2 会員特典委員会をなくす。
- 3 職業奉仕委員会と青少年奉仕委員会の責務を社会奉仕委員会に統合する。
- 4 ロータリー地域社会共同体とロータリー親睦活動委員会の責務を社会奉仕委員会に統合する。
- 5 地区クラブ奉仕委員会をなくす。

地区活動方針と目標

- 1 会員基盤の維持と強化
- 2 ポリオ撲滅最終年度への強力な取り組みと支援
- 3 奉仕活動の支援(社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕)
- 4R1 戦略計画と中核的価値観の理解と実践
- 5 公共イメージの向上
- 6 全クラブがロータリー賞に挑戦しよう
- 7 研修制度の充実
- 8 財団への理解と活用 9 米山奨学会への協力

次年度 RI テーマ Be the Inspiration について

インスピレーションの辞典的意味は創作や思考の過程で瞬間的に浮かぶ考え

ひらめき 靈感 第六感と書かれてありこれが日本人の感覚である “Inspire” は

in+spire で spire は spirit と同語源で “inspire” は「息を吹き込むこと」が元々の意味でさらに
“息” は精神、魂に通じ「精神を入れる」から「鼓舞する」「励ます」となっているようです。従
って “inspiration” は「人の心に火をつける人」

「モチベーションを高める人」

となるのだろう

外国語の音だけを表記するために(字音表記)カタカナが使われるためカタカナ英語になり元々の
言語の意味とニュアンスの違う日本語英語になる

つまりカタカナ英語は日本語なのである。

“2018-19 RI President Barry Rassin wants Rotary members to Be the
Inspiration” (ラシン会長エレクトはロータリー会員にモチベーションを高める人になって欲しい
と願っている) まさにこれが意味であろう

“インスピレーションになる” の日本語の使い方はないので違和感を覚えるがわかりやすい翻訳は

「人の心に火をつけるリーダーになろう」

「ロータリアンの心をしようべい奮いたたせよう」

「モチベーションを高めるリーダーになろう」であろうか

皆さんがクラブ会長としての役割と責務はこの後、各地区委員長からな指導がありますので、私からは次期研修委員会がどのようにク良好な関係を構築出来るかを中心に話を進めてまいります。

1. クラブ研修「66クラブ、研修リーダーの勉強会」
2. 分区 レベルの幹事研修「次年度クラブ幹事、分区単位の研修会」
3. 次期ガバナー補佐研修「年度内に3回次年度ガバナー補佐の研修会」
4. 公共イメージと認知度の向上チーム「相良元章チームリーダー」
5. IT委員会、My, Rotaryの登録推進と活用「鈴木雅之チームリーダー」
6. RLI「ロータリー、リーダーシップ研究会」

全ロータリアン参加型の勉強会、ディスカッション方式で行います

パート1「私たちロータリアンが学ぶべきテーマについて」

パート2「所属するロータリークラブが、より効果的クラブに成長するための課題について」

パート3「私のロータリーの旅」のタイトルがついています、



パート1、パート2、での学びを基に、より幅広く奥深いロータリーの世界を学ぶ「旅」となっています。そのゴール「目的地」は、私たち一人一人がロータリアンとしての成長とロータリー感の確立を目指しています。

ロータリーを理解し地域社会に貢献するロータリークラブとロータリアンの向上心を養う「研修会」です。公共イメージと認知度の向上チーム、ITチームは実働委員会で各クラブに出前講座等を行いたいと考えています。

RLIは新会員からベテラン会員まで自由に意見発表のできる勉強会です。

以上6つを基本に平井ガバナーの掲げた「地区目標」に沿った活動を地区運営委員会と連携しご指導を頂き進めてまいります。

閉会点鐘

		国際ロータリー第2530地区 三春ロータリークラブ				
				TEL	FAX	E-mail
例会場	割烹文字屋	三春町字大町 18-1	62-5757	62-3174		hashimoto@8monjiya.jp
事務所	〒963-7759	三春町八島台 5-3-9	62-2334	62-2334		remiharu@gmail.com
会長	影山 吉則	三春町桜ヶ丘 3-1-3	62-3018	62-3110		y.kageyama@watadengumi.co.jp
幹事	山口 晋司	三春町字中町 51-1	62-4038	62-4038		shinji@polsys-inc.com
会報	渡邊 宏二	三春町字荒町 60	62-2410	62-2410		yamadai@orange.plala.or.jp